



昭和53年3月20日

大阪産業大学校友会報

Osaka Industrial University

発行所 大阪産業大学校友会
(大阪産業大学内)
東京市中垣内3の1 〒574
電話(0720)71-1251(内線381)

発行責任者 大阪産業大学校友会
石川信男

印刷所 (株)藤井印刷店
大阪市城東区間目3丁目7-17
電話(06)932-0351(代)

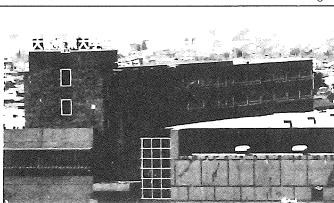
卒業される みなさんに

新しく卒業されるみなさ
んに心よりお祝いとお喜び
を申上げます。

さて本年は昨年よりもな
お一層厳しい多難な年であ
ります。

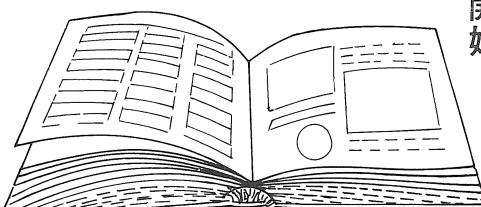
みなさんはこれから各分
野に就職され、社会人とし
て頑張られること思いま
す。これからは今までのよ
うな甘えの気持を一切捨
て難な課題に対し、自分
から積極的に邁進し、自分
に耐えて、いかに発展し
ゆくかが校友として今後
おりますが、不況の中にい
かに耐えて、いかに発展し
ゆくかが校友として今後
ります。

卒業されるみなさんは、
これからお互いに職業を異
にしながらお互いに成長を共
にですが、これから校友会
を中心卒業生同志、先輩、
卒業としての交流を深め
ます。



- 本文三六八頁
- 50音別、勤務先別、地域別計一九二頁
- 記念に関する本文、カラー一四頁
- その他五二頁、広告八〇頁
- B5(二五七cm×一八二cm)
- 表紙クロス貼り
- 発行部数三〇〇〇冊
- 領布価格一冊五〇〇〇円(送料含)
- 予約価格一冊四〇〇〇円(送料含)
- 申込みは現金書留あるいは郵便振替口座
- 大阪八九三三五でお願いします。

記念名簿11月発行。 (50周年記念版)



広告掲載要領

1ページ(タテ22cm×ヨコ15cm)
11cm×7.5cm 3000円
11cm×7cm 2000円
(注、いずれも白黒刷りでカラーは使用いたしません)

申込み方法(申込み締切り

6月末日必着)

広告寸法をご指定の上、広告原稿(社名、住所、
電話番号など)を添えて、左記へお送りください。
なお登録書体マーケット、写真の使用ご希望の場合は全額下にお送りください。
申込みは現金書留あるいは郵便振替口座
大阪八九三三五でお願いします。

十五四 大東市中垣内三丁目一一一

TEL(0720)71-1251
大阪産業大学校友会事務局記念名簿係
内線二八一・三八二

学園創立五十周年を
迎えて校友会記念名
簿を作成する。

五十年の伝統、昭和三年
大阪鉄道学校として発足し、
幾多の変遷の後、大阪産業
大学となる今日まで、五十
年の歳月が過ぎました。
創立五十年を学園の一つ

の節として、新たな進歩の一
里程碑として行きたいもの
あります。校友会もこの
一つの区切りに際して、大
学における校友会員の名簿

を集大成、発行することに
なりました。

第一期の卒業生から昭和
五十年度の卒業生まで含
めた、まとまった名簿を作
成しようということは前

々から、常に呼ばれており
ました。しかし、財政的理

由等により今まで実現す
ることが出来ませんでした。

第一般より、学園五十周年

を記念して、一括した記念

名簿を発行しようという、

気運が盛り上り、昨年七月

の代議員会において、実施

された、また、まともた
な名簿を作成しようとい
うことには前

会がもうけられ、具体的な

仕事がなきれ、今年十一月に

発行する段取りとなつたわ
けです。

校友会名簿は別編

で同封します。

記念名簿作成委員会

十一月に発行

校友会記念名簿

住所不明者について
再度のお願い

前回にご協力を頂きなが
らも、いまだに多くの住所
不明者があります。

このため、いま一度最後

のお願いをする次第であります。

思い出の写真募集

50周年記念名簿掲載の懐
かしい又珍しい思い出の写
真を募集致しております。
この名簿が、大阪産業大
学の充実発展と、校友諸氏
の活躍の基幹となると信じ
ております。その後、幹事
会がもうけられ、具体的な
分野の開拓進行を強力に押
し進める有効な確となるこ
とでしよう。

又、地域においては、支
部設立推進のため役立て
てください。

この名簿が、大阪産業大
学の充実発展と、校友諸氏
の活躍の基幹となると信じ
ております。

チャイム

先日ある新聞に、麥容するアメリカの大学についての記事がのつて面白く読んだ。例えばカリフォルニア州立大学二十八校の学生の平均年齢が二十八才であると言う。十年前までは平均二十五才だったというから大学教育の内容、形式その他すべての点において根本的に変革をもたらすことを意味するものと言える。つまり十八才で高校を卒業、二十二才で大学を卒業する、二十一年かれて社会に出て、社会に出て二十九年から十一年すれば、再び大学に学び新しい知識を吸収して仕事を役立てるという國式が一般化している。その場合も、実は大学生の90%以上は自ら働いて生活し、かつ学ぶので、在学年限に期限はない。つまり、40年かかつて単位を修めてもそれはいつこうに構わないという制度を取っている。アメリカの大学は、もはや高校の延長ではなく、大人の行く所であり、中年になった社会人がより高いインフォーメーションを獲得するところであるというのが今日のアメリカの大学教育の理念であるという。

近況

52年交機卒
井上吉昭

大 学

S 46卒・交機 田中武雄
(大阪産業大学工学部
技術指導員)

熟のうちに、学生の前に立ち
めざすと明確の要領の悪さ
を感じてきました。

そのうちに、学生の前に立
めざすと明確の要領の悪さ
を感じてきました。

私は大阪産業大学にて、
技術職員として勤務してお
ります。学生として、教えられて
いる立場から一変して指導
する立場になつて、はや一年
が経ちました。私にとって、この一年は、
指導するには技術的な知識
や技能などは、まだまだ未
ださる毎日が、試行錯誤

校友会愛媛県支部結成す



学園創立50周年を迎える
にあたり、大阪産業大学及
び校友会発展のために、各
県の支部結成の動きが活発
になっています。
そのなかで、大阪産業大
学校及愛媛県支部の結
成がなされました。青天の
候、2月26日(日)に支部結
成大会が松山市奥道後にお
きまして開催の運びとなり
ました。まず最初に総会
を開き、会則の制定をおこな
いました。その後、ホテル奥道後
カメリアビル6階の
素晴らしい会場を見渡しつ
つ、なごやかな雰囲気の中
で懇親を深めました。校友会本
部より梅本・真田両副会長
と森本幹事、事務局より菱
田氏の4名が出席した。地
元より約20名近くの出席者

が集り、大学の近況報告と
校友諸氏の活躍状況など豊
富な話題に時間のたつのも
忘れる時であった。次に
連絡もよろしくお願い致
ます。

(名 称) 本会は大阪産業大
学校校友会愛媛県支部と称
し事務局を渡部計氏宅に
おくる。
(目的) 本会は会員相互の
親睦を計りあわせて、大
阪産業大学及び大阪産業
大学校友会の発展に貢献す
ることを目的とする。

(会 員) 第一条 本会は会員相互の
親睦を計りあわせて、大
阪産業大学及び大阪産業
大学校友会の発展に貢献す
ることを目的とする。

(会 費) 第二条 本会は年間千円と
し、その都度必要に応じ
て徴収する。

(役 員) 第三条 本会の目的に達成
するために必要な事業を
行う。

(会 員) 第四条 本会は大阪産業大
学及び短期大学部、大阪
交通短期大学の卒業生で
愛媛県出身者及び愛媛県
在住者を会員とする。

(会 費) 第五条 会費は年間千円と
し、その都度必要に応じ
て徴収する。

(役 員) 第六条 本会に次の役員を
置く。

(役 員) 第七条 本会に次の役員を
置く。

(役 員) 第八条 役員は総会におい
て選出する。

(総 会) 第九条 総会は会員の出席
者(出席可能者の三分之二以上
で成立し、年一回開催する。

(会則の変更) 第十条 会則の変更は会員
の出席者の三分之二以上
の賛成をもっておこなう。

(附 則) 第十一条 会則の変更は会員
の出席者の三分之二以上
の賛成をもっておこなう。

この会則は昭和53年2月
26日より施行する。

大阪産業大学校友会 愛媛県支部会則

「溶射について」

五十年交機卒
宝 藏 頭 治



「溶射について」は、アメリカの企業の技術部や
研究所からの発表が多く、アメリカ企業の事業に打ち
込んだ姿勢が、日本、ヨーロッパから公的の研究機関
からの発表が比較的多く、パッと異なる感じ
につけて被膜を作るもので
いた。マイアミで第八回国際溶
射会議が開催されました。日本からは約三千名参加し、
我々が行動するように努力
をいたしました。私もこれを機会に、企業
が求める、又現在が求める、
それが行動するように努め
なければならぬと自分自身を戒めました。

この講演会にはこのよう
な大目的を有し、我が大阪
工業大学の学術レベルの向
上を最終目的としている。
この第一回講演会はこのよう
な第一回講演会が第一回
に、これまでには各研究室
で卒業研究の発表会が行
なわれていたが、学部の規
模で行ない、その研究内容
が多目的を有し、我が大阪
工業大学の学術レベルの向
上を最終目的としている。
この第一回講演会はこのよう
な第一回講演会が第一回
に、これまでには各研究室
で卒業研究の発表会が行
なわれていたが、学部の規
模で行ない、その研究内容
について、少しでも広い分
野から討論に参加し、真剣
な論議が交わされ、それら
の内容の研究を行なつた。
「一年間我々はこの様な学
問間での教育の中の人
間性を感じる。

卒業研究でプラスチックの表面活性化に関する
研究を行ない、プラスチックを
溶射するための関西メタリコ
ン工業所へ足繁く通う
た。校員会員の皆さんには、おそらく
同じく同じの薄いものでは、おそらく
溶射といふと思われます。溶射とい
うのは、表面処理法の一種
で、金属、プラスチック、セラミックやこれらの混合
物をガス、アーチ又はプラズマなどの熱源を用いて
溶融し、これを圧縮空気や
高圧不活性ガスを用いて吹
きつけて被膜を作るもので
あります。溶射といふと思
われることが出来て胸が
いっぱいでした。マイアミ
は、アメリカでも有数の保
養地である関係もあってか、
夫人同伴で会議に参加する
人々が多いのに驚きました。
発表論文は、日本、ヨー
ーロッパから公的の研究機関
からの発表が比較的多く、
アメリカは企業の技術部や
研究所からの発表が多く、アメ
リカ企業の事業に打ち
込んだ姿勢が、日本、ヨーロ
ッパと異なる感じ



一月十日工学部機械系
科(機械工学科、機械工学科及び交通機
械工学科)の卒業研究発表
講演会が開催され、大成功
を収めた。テーマ数は42、残念
ながら発表に間に合わなか
つた卒業研究グループもあ
つた。卒業研究グループもあ
つた。テーマ数が多いため
二つの大教室に分かれそ
れぞれ21のグループが15分
づつ講演と討論を行なつた。
この講演会は今回が第一回
で開催する。

(会則の変更)
第九条 総会は会員の出席
者(出席可能者の三分之二以上
で成立し、年一回開催する。
(役員の選出)
第十条 役員は総会におい
て選出する。
(会則の変更)
第十一条 会則の変更は会員
の出席者の三分之二以上
の賛成をもっておこなう。

この会則は昭和53年2月
26日より施行する。

附 則

この会則は昭和53年2月
26日より施行する。

</div

